

議会運営委員会会議録（令和3年6月17日）

出席委員 中川委員長 開田副委員長 青山委員 原委員 古沢委員 浦田委員
岩城議長（オブザーバー）

欠席委員 なし

説明のため出席した職員 なし

職務のため出席した事務局職員 藤名局長 高川局長補佐

午前10時49分開会

【中川委員長】 これより、議会運営委員会を開催いたします。

会議日程は、お手元に配付したとおりです。

日程第1 会議録署名委員の指名をいたします。古沢委員、浦田委員にお願いいたします。

【浦田委員】 今開会されましたけども、今回の議会運営委員会は全く予定外で、案内も昨日出して今日。15日に議会運営委員会があったのに2日後の今日。

今回、議会運営委員会を開催されるに当たって、何のために開催されるか、まずその趣旨を委員長のほうからお願いしたいと思います。

【中川委員長】 後ほど説明しようと思っておったんですが、浦田委員が言われますので、私のほうから説明したいと思います。

先般の議運において不一致という形になりました。その後、県議会議員の意見書が出されたんですが、その意見書を見ますと、富山県議会の各党が賛同されて、一部修正されて合意に至ったという内容でした。

そこで私としては、ほとんどの方が原案に賛同されたということではありますが、浦田議員がおっしゃっているように中身もほとんど一緒だと。内容の一部を削除された意見書も出されるかと思うんですが、できれば同じような意見書を議場で両方から提案するのはいかなものかなという思いがありました。

できれば議運の皆さんが全員一致して議場で提案できないものかなという思いで、今回、このような形を取らせていただいた次第であります。

前回の議運においてその辺までしっかりと議論をすればよかったと思うんですが、残念ながら私の不徳の致すところで、できなかったということで、本当に申し訳ないというふ

うに思っています。

そういうことをひとつ理解していただいて、この後の内容について協力をいただきたいという思いであります。

【浦田委員】 今説明されたその中で、気になることが何点かあるんですよ。同じ案件が出ると。

そういう可能性があるんですか。原案のほかに、誰か修正案を出すという話があったんでしょうか。

【開田副委員長】 私は15日会議の後、青山さんも事務局におられて、県議会議員のこういう意見書の内容が手に入って、内容が違うと。じゃあ、みんなで共通理解すればどうですかということを行いました。

事前に手に入らなかった私たちは知らなかったんだけど、こういう県議会の意見書が手に入ったから、もう一回議運をしたらいいがでない？ と言ったのは私です。すみません。

【浦田委員】 県議会の採択の中身は以前から配付されておりました。15日に私のところのグループは不一致ということで説明させていただいたときに、補足で、県議会の意見書の中身はこうですよという説明もさせていただきました。皆さんも、どこに書いてあるがけというがで慌てて見られて、確認されているはずですよ。

県議会の昨日配付されたのと同じ物が最初から配付されております。にもかかわらず、私の補足説明も含めて、内容をしっかりとお伝えしたにもかかわらず、無視されて、不一致になったと。そういうことはいかがなものかなと。

【開田副委員長】 何日に出ている。

【浦田委員】 何言うがいね。

【開田副委員長】 ごめんなさい。

【古沢委員】 最初から出ている。

【開田副委員長】 あ、そういうがけ。ごめんなさい。

【浦田委員】 訂正してくださいよ。

【開田副委員長】 すみません。

【浦田委員】 訂正してください。

【開田副委員長】 はい、訂正します。

私の確認不足でしたが、ただ改めて見せていただいたときに、皆さんにもう一度諮ったらどうですかと言いました。私の認識不足で、確認不足です。大変すみませんでした。

【浦田委員】 先ほど言いましたが、この原案ともう一つ出たら面白くないから、一つにまとめたらという話を発言されたんですけど、そういう話はあったんですか。

【開田副委員長】 少しあったね。

【青山委員】 ええ。

【開田副委員長】 誰って言わんでもいいがじゃない。

【青山委員】 その当日、前回の議運の中で浦田委員からそういうご指摘をいただいて、話し合う機会がその場ではなかったですけど、その後にあったわけです。そこで、見たら、どうしても5番に関してだとか、やっぱりこれはちょっと県議会の内容も含めて我々の認識不足だったなということで、今ここの形に進んでおります。

【古沢委員】 今いろいろお話があったとおりのので、県議会で採択された意見書の中身というのは、当初から出ておったわけですね。前回の議会運営委員会で出された原案について、それぞれ皆さん、どういう意見があるかということは、当初の予定どおりの議運でそれぞれが意見表明されたわけですね。

いつも思うんですが、県議会で採択された中身を参考にされるのは大いに結構だと思います。前回の議会運営委員会でそれぞれのグループから意見表明をされたというのは、私の理解から言えば、それを踏まえた上で意見表明されたものだというふうに受け取るのが普通ですね、今、認識不足だったというお話もありましたけれど。

だから、県議会は県議会、滑川市議会は市議会、違う議会なわけですから、それぞれ主体的に判断されればいいことであって、県議会の結果を参考にされるのは、それは十分あり得るし、別に悪いことだとは言いませんけれど、その上で判断された意見表明だというふうに私は受け止めておったわけです、少なくとも。

結論的に言うと、原案から、県議会の文書でというと、変更された部分について、私とすれば、残念ですけども、そういう今のコロナ禍の下での様々な現場の状況を国、関係機関に届けることが優先だろうというふうには思いますから、中身については、ある意味譲歩するつもりではおりますけれど、議会運営委員会のそれぞれの定められた日程の下で、それぞれのグループで検討していただいた上で意見表明するというふうになっているわけですから、その上で会議に臨んでいただきたいと、変な言い方をするんですけども、改めてお願いしたいと思います。

【浦田委員】 私も古沢委員さんの意見、思い、これはまさにそのとおりだと私は思っています。15日にこの件に関しては、2回皆さん方の意見を聞かれたんですね。一致か不一

致か。私は条件付不一致ということでお話しさせていただいて、中身的には、こうこうこうですよ。県議会もこうなっていますよ。ゆえに、県議会さんと同じというのであれば、私は一致させていただきますということを説明させていただいたんですが、受け入れていただけませんでした。

ゆえに、その後再度一致か不一致か確認されて、私は不一致と。皆さん方は2回とも一致で確認されて、最終的には議運提案になりませんということで、委員長は採決されたわけです。

そういう経緯を重く受け取っていただきたい。私からすれば、私はあれだけ説明したのに、皆さん方は理解をしてくれない。理由は、県議会の採択の結果だと。これは最初から提示されている話です。ですから、いただいた資料はちゃんと精査して、会派、グループでしっかりと議論していただきたい。そして、責任を持ってこの場へ持ってきていただきたいと思います。

私は理解していただけなかったことが残念です。誠に残念であるし、失礼だと思う。

今、古沢委員さんも言われたのは、要するに原案を承認いただいたという理解でおいでるわけですよ。古沢さんに対しても、逆に失礼な言い方です。一旦は原案のとおりいきましようよと決めてしまっているのに、今さら修正させてくださいというのは、これは誠に古沢委員さんに対して失礼な言い方。私はそれだけ言っておきたいなと思います。

もう一つは、最初になぜこの委員会をされるかという趣旨を聞かせくださいと言ったのかというと、委員長は県議会の話しか出ませんでした。皆さん方は「一事不再議」という言葉をご存じかどうか。議会の本会議では一事不再議というのは、これは確か会議規則にもあるんですよ。15日に決めてしまったことを2日も経たないうちに変えましようよというのは、これは前代未聞です。こんな議運をやられるというのは、誠に私は遺憾に思っています。

今後そういうことは一切ないようにやってほしい。「一事不再議」という言葉をしっかりと頭に入れておいていただきたいと思います。知らないなら仕方ないですけど。以上です。

【古沢委員】 そのとおりなんですけども、普通の常任委員会での議案に対する賛否採決をするというのはちょっと違って、ここはできたら合意を得たいという趣旨だと思うので、さっきも申しましたけども、それは、私としては尊重したいというふうに思っております。あとは皆さんのご意見をそれぞれ出していただいて、できることなら合意した上での採択をしていただきたいというふうに思っております。

【浦田委員】 私もつけ加えて言うのは、議論の中で、最終的に私の当初言った意見を取り入れていただいて、修正させていただくということであれば私は喜んで賛同させていただきます。以上です。

【青山委員】 申し訳ありませんでした。

【原委員】 私のほうからも、すみませんでした。

会派自民としても深く反省したいと思います。

今ほど出ましたが、県議会の意見書を見たわけでありますが、会派自民としても、この内容で統一できるのであればお願いしたいと思います。

【開田副委員長】 ごめんなさい。改めてもう一度確認もしました。

内容が生活のことですので、ぜひ審議をお願いいたします。

【中川委員長】 私の不手際でこのようになりましたことを本当に申し訳ないと思っています。以後、気をつけるといっても、そんな長いこともできませんが、ともあれ、私は議会が一本になってこういった意見書を出すのがベターだという思いでありますので、前例のないことですが、今回このような形で開催させていただきました。

ぜひともよろしくお願いしたいというふうに思います。

これでいいですか。

【古沢委員】 具体的に、文章といたしますか、それは、前回ついておったあれで、変更部分といたしますか、原案に対しての修正部分ということでやられるということですか。

【中川委員長】 まず、ちょっと、言うことだけ言わせてください。

それでは、日程第2 意見書の取扱いについてを議題といたします。

前回の議会運営委員会において、富山県医療労働組合連合会からの「安全・安心の医療・介護の実現と、国民のいのちと健康を守る国への意見書採択を求める要請書」について、各会派・グループ等で協議の結果を報告いただいたところ、不一致だったということでありました。

前回の協議では、浦田委員グループから条件付で一致という発言もありました、先ほども言われましたが。要請項目の内容の中で5番目の「社会保障に関わる国民負担の軽減を図ること」の取扱いを、まず県議会のほうは削除というふうになっております。加えて、項目2番目の「公立・公的病院の統合再編」の文言についてを、削除という形を取らせていただいて、項目を4つにするということに今回お願いしたいなというふうに思っていたところでありました。

そういうことではありますが、浦田委員もこの削除の部分等も指摘されていたように思うんですが。

【浦田委員】 していたと思う、じゃなくてしたんですよ。

【古沢委員】 整理します。

1つは、第2項目の公立・公的病院。原案では、公立・公的病院の統合再編や地域医療構想云々となっているんですが、ここの統合再編の言葉に代えて、公立・公的病院をしっかり守りと。それと、第5項目を削除したというのが県議会での採択。

【中川委員長】 そうですね。

【浦田委員】 私どものグループでは、前回も言いましたように、県議会の採択された文面をお願いいたしますということで、それだけ申し上げておきます。

【中川委員長】 青山委員。

【青山委員】 我々もこの県議会の4番までの内容と文章が一致ということでお願いしたいと思います。

【中川委員長】 開田副委員長。

【開田副委員長】 ごめんなさいね。これでよろしくをお願いします。

【中川委員長】 原委員。

【原委員】 会派自民もそうでございます。先ほども言いましたとおり、県議会から出た意見書で統一していただければと思います。

【中川委員長】 古沢委員。

【古沢委員】 私たちは本来からすれば原案で採択をしたいというふうに思っておりますが、この趣旨を、さっきも申し上げたとおりで、これを政府関係機関に届けるということを優先させて、あえて譲歩させていただいて、県議会の文言で合意をしたいと思います。

あえて譲歩と言わせていただきます。

【中川委員長】 今ほどお聞きしたとおり、全員一致ということでもありますので、議運提案として、県議会の内容を意見書とさせていただきたいと思っております。

【浦田委員】 一応、議運提案ということでさせていただいて、ありがとうございます。

ちなみに、議運提案ということで、提案理由説明は誰がされるんですか。

【中川委員長】 通常ですと、議運提案は委員長がするという事になっております。

【浦田委員】 こういった事情もありますので私から提案させていただきますが、これはもともと共産党さんのほうから提案されましたので、修正したのはこちらですが、今回の

提案した形での提案理由説明については、私は古沢委員に担っていただきたいと思っていますのでお諮りください。

【古沢委員】 これは別に私が提案したわけではないので。

【浦田委員】 間違いなく、出されたねか。

【古沢委員】 いえ。紹介議員になっているわけでもありませんから。これはあくまで富山県医療労働組合連合会が出された意見書提出要請なので、私と直接関係があるわけではありませんが、私とすれば原案で採択してほしかったということは先ほど申し上げたとおりです。

今、浦田委員さんから配慮のある発言をしていただいたものだというふうに受け止めておりますが、先ほども申し上げたとおりで、私とすれば、提案の中身については譲歩をしたつもりでありますので、その意も酌み取っていただいて、私の提案理由というのはちょっと辞退をさせていただきたいというふうに思っています。

【浦田委員】 今ほど古沢委員さんのほうから辞退ということで聞きましたので、私もそれを受入れさせていただきたいと思います。

こういった一事不再議とか、やはり今後こういうことがないようにお願いするとともに、今ほど古沢委員さんが言われましたように、やはり譲歩したと。こういう2度目で譲歩させるということ、こういう委員会を開催すること自体、私はいかがなものかなと違和感を感じていますので、そういうところも配慮して、提案理由説明をしていただきたいと思えます。

【中川委員長】 ほかに、皆さん、意見はないですか。思っていることを言ってください。

(質疑する者なし)

【中川委員長】 ないですか。

それでは、日程3その他で事務局から何かありましたらお願いします。

【藤名局長】 事務局としましても、今回のことにつきまして、議員の皆さんに十分なサポートができなかったということで大変反省しております。申し訳ございませんでした。

1点確認でございますが、今ほどの提案理由ですが、議運の委員長でよろしいですね。

(異議なし)

【藤名局長】 では、議運の委員長でお願いいたします。

以上であります。

【中川委員長】 次回の議会運営委員会は、定例会最終日、6月21日月曜日午前9時から

開催いたします。

今回は皆様方には大変迷惑をかけました。本当にありがとうございました。

本日の議会運営委員会を閉会いたします。

ご苦勞さんでした。

午前11時15分閉会